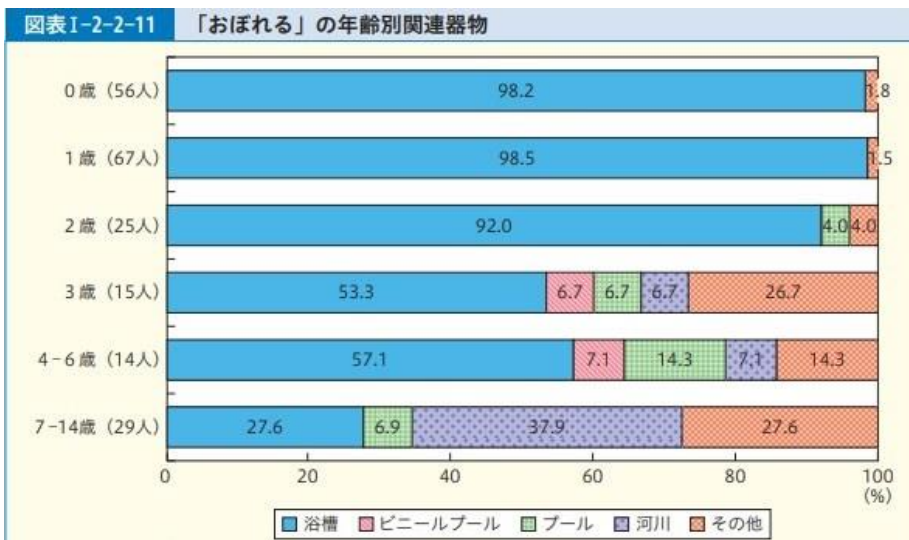


## 【お風呂の水を溜めておく、は正しいのか？】

防災対策の一つに、「お風呂に水を溜めておく」ということがよく言われています。これを実践されている方もいらっしゃると思いますが、今、見直す機運が高まっています。以下のリスクを、各ご家庭の実情に合わせて、ご検討いただき、お風呂に水を溜める／溜めないを決めてみたらいかがでしょうか。

### リスク1 : 子どもが「おぼれる」

今の保育園・幼稚園では、「入浴後は浴槽の水を抜きましょう」と指導されています。消費者庁でも同じ指導をしています。そして、鍵をかければ大丈夫、は危険です。子どもの「できる」は早いものです、鍵を開けられるようになるかもしれません。また、別居のお孫さんが、来る際にも、同様の注意が必要です。「おぼれる」は、重症以上の症状に発展する割合が高い、重大な事故なのです。



出典  
消費者庁より  
東京消防庁「救急搬送データ」(2012-2016年)に基づき消費者庁が集計  
各年齢後の( )内は2012年から2016年まで

### リスク2 : お風呂の残り湯は雑菌だらけ

残り湯を飲み水に活用する、と思う方はいらっしゃると思いますが、手や顔を洗うくらいには使えるんじゃないか、と思っていらっしゃる方・・・危険です。東日本大震災時、残り湯で顔を拭いて、口から細菌が入って感染症にかかった事例があります。

### リスク3 : いざという際、流せない

上水道の破損による断水は、下水管の破損も同時に生じていると考えられます。そうすると、トイレを流すための使い道が出来なくなります。また、残り湯はどんどん雑菌が繁殖し、水が腐り、悪臭を放ちます。夏場はあつという間です。

### リスク4 : 集合住宅の場合 (マンション、アパート)

集合住宅の給水管・排水管でも、3と同じリスクがあります。さらに無理に水を流したら、階下への漏水、思わぬ箇所からの漏水などが生じます。「当建物では、お風呂に水を溜めてはダメ」、と謳っている集合住宅もあります。

参考 消費者庁 こども事故防止ハンドブック



ご意見ご質問ご要望などは、口頭、メモ投函、メール3990022.6bousai@gmail.com などでお受けし調べてお答えしたいと思います。お気軽にお問い合わせください。 5班 黒澤